



普通科

進学 コース

主体性を育む進路指導で生徒一人ひとりの夢を実現！

生徒一人ひとりに最適な指導を行い、
それぞれの個性に合わせて大学進学に必要な知識と能力を養います。

! 学びのポイント

Point
1

自律

自らの言動・行動に責任を持っていない者に、本当の意味での進路選択はできません。自律ができていない生徒は自分の意思で大事な決断をすることができないからです。当たり前のことを当たり前に行える人間になることで、生活・学習習慣を見直し、学力の向上につなげます。

Point
2

自己分析・自己探求

生徒の可能性は無限大。一面的な評価だけで測れるものではありません。様々な角度から自分を見つめ、今まで気づかなかった個性を見出せるよう、きめ細かなフォローアップをします。自らの適性を自覚し、その能力を伸ばせる進路を実現できるよう、適性の発見と自己実現力の育成を目指します。

Point
3

文武両道を目指す放課後

勉強も部活動も頑張りたい！そんな生徒のために、進学に向けて十分な学習時間を確保しつつ、放課後は自分を磨くための時間を用意しています。特技や運動能力を伸ばしたい生徒は部活動、自分のペースで学力を伸ばしたい生徒は課題学習、学力をさらに高めたい生徒は尽誠塾と、それぞれの目指す方向を見据えて頑張ることができます。



毎時間充実した授業です。



教師の問いかけが生徒の学習意欲を養います。



興味深い内容の授業が生徒の好奇心を刺激します。

進学コース卒業生の実績 (過去3年間)

大学名
法政大学
中央大学
専修大学
関西学院大学
立命館大学
中京大学
関西外国語大学
龍谷大学
近畿大学
武庫川女子大学
亜細亜大学

大学名
東京経済大学
東京福祉大学
駿河台大学
桐蔭横浜大学
白鷗大学
愛知学院大学
種智院大学
京都外国語大学
京都ノートルダム女子大学
大阪経済大学
桃山学院大学

大学名
大阪産業大学
大阪経済法科大学
大阪商業大学
梅花女子大学
追手門学院大学
朝日大学
奈良大学
天理大学
奈良学園大学
神戸学院大学
神戸松蔭女子学院大学

大学名
関西福祉科学大学
流通科学大学
環太平洋大学
岡山理科大学
山陽学園大学
徳島文理大学
四国大学
四国学院大学
松山大学
福岡大学
など

卒業生の進路獲得まで



江戸 友紀さん

まんのう町立満濃中学校 出身

立命館大学
法学部法学科

私は部活動と勉強に力を注ぎ、文武両道を達成できるように計画を立てながら3年間を過ごしました。部活動と勉強を両立するのは簡単なことではありませんが、しっかりと目標を持つこととメリハリをつけながら取り組んだことで両立できたと感じています。こうした日々の努力の積み重ねが第1志望である立命館大学の合格に繋がりました。自分の立てた目標を変えないことと、決して諦めない気持ちが一番大事だということを学びました。



真室 紀花さん

高知県立高知南中学校 出身

京都外国語大学
外国語学部英米語学科

私は3年間尽誠太鼓部員として勉強と部活動の両立に励みました。初めて触れる和太鼓に最初はとても苦労しましたが、情熱のある先生や先輩方のおかげで毎日が充実していました。また、日々の小テストや定期考査の際、分からない箇所を先生に質問したり放課後友達と残って勉強をすることで、学習にも全力で取り組むことができました。私が京都外国語大学に合格できたのも、熱い先生方の指導と尽誠学園での経験のおかげです。この経験を糧にして次のステージでも頑張りたいと思います。

STUDENT'S VOICE



三宅 未紗さん

2年
宇多津町立宇多津中学校 出身

進学コースの授業は1日7時間あり、志望大学合格に向けて充実した毎日を送ることができています。授業で分からないことや疑問に思ったことを先生方に質問すると、理解できるまで丁寧に教えてくださいます。私は吹奏楽部に所属し、毎日練習に励んでいます。帰りが遅くなり、家で勉強する時間が少なくなることがよくありますが、その分、学校でしっかりと授業を聞き、放課後には尽誠塾に参加して、予習や復習、苦手分野の克服に取り組んでいます。テスト期間になると部活で勉強会があり、友達とお互いに質問し合ったりして理解を深めています。

TEACHER'S VOICE



辻 翔子先生

担当教科：国語

進学コースの生徒の多くは部活動に所属しながら、学業との両立を日々目指しています。放課後は部活動に参加するだけでなく、尽誠塾や各フロアのモールを利用して苦手科目の克服や、英検、漢検、数検などの資格取得に取り組んでいます。生徒一人ひとりの進路選択を広げるため、また進路実現のために個々に必要な知識や能力を養えるよう、教員が一丸となってサポートします。そして生徒が自ら学ぼうとする自主性を尊重し、その空間作りも大切にしています。将来の“夢”だったことを“目標”にするために、一人ひとりの生徒と向き合って全教員が協力します。